

2021年度 事業運営報告

1. 事業報告

1. シンフォニー定期演奏会（第254回～第262回）

ザ・シンフォニーホールを会場として9公演を開催したが、新型コロナウイルスの影響により5月開催予定の第255回は翌年3月16日に延期となった。指揮者は首席指揮者飯森範親、秋山和慶ミュージックアドバイザーに加えて2021年4月に久石譲が首席客演指揮者就任し、9公演中7公演（秋山の代役を加えると8公演）を3者が担った。残りの2公演については海外からのアーティストが入国できず、カーチュン・ウォン、秋山和慶の両氏に代役をお願いすることとなった。シーズンスタートから10月末まで緊急事態宣言等が継続的に発出していたため、来場者数にも影響が出ていたものの、下半期から少しずつではあるがお客様が戻りつつある印象を受けた。

2. ハイドンマラソン（HM. 23～HM. 26）

ハイドンの交響曲を全曲演奏・録音する「ハイドンマラソン」も7シーズン目となり、会場をザ・シンフォニーホールに移して更なる演奏の充実を目指した。コロナ渦でありながら4公演を開催することができたが、HM. 25については新型コロナウイルス水際対策の影響により海外からの入国が叶わず、田中靖人氏（サクソフォン）に代役をお願いし、曲目を変更して開催した。また、HM. 24では、楽団が展開している「新曲委嘱パトロン制度」を活用し、故日下部吉彦氏の御子息より委嘱・寄付を受けて、新曲の披露（世界初演）を行った。

3. センチュリー豊中名曲シリーズ（Vol. 18～Vol. 21）

2021シーズンより、豊中市立文化芸術センターとの共同制作「新・豊中名曲シリーズ」として再スタートした。豊中を舞台とした物語を仕立てて楽曲とシンクロさせることで、違った楽しみ方ができるコンサートを目指した。新型コロナウイルスの影響により、Vol. 19の指揮者、Vol. 21のソリストが変更になった。来場者が少しずつ増えていることは喜ばしい。

4. 大阪以外での共催公演

広域での観客層の拡大、楽団の認知度、スポンサーの獲得を目的とし、各地の文化財団との共催で、三重（三重県文化会館）、大津（びわ湖ホール）の2会場で公演を開催した。文化庁の第3次補正予算事業であるアートキャラバン事業（三重特演）、アーツ・フォー・ザ・フューチャー事業（びわ湖定期）を活用し、公演の経費を確保した。

5. 社会貢献活動

新型コロナウイルスの影響により、小学生向けの体験型コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」は開催を断念、大阪府下の特別支援学校へ訪問演奏する「支援学校コンサート（巡回）」は予定通り5回、入院患者や来院者のための「病院コンサート」は3回の開催となった。また、大阪府下の特別支援学校の児童・生徒を対象にした「特別支援学校コンサート」は予定通り行うことができた。

例年、地域社会との共同やオーケストラの新しい可能性を開拓するため「若者の就労支援」「家族」「高齢者」「地域住民」との活動を4つの柱として、プログラムディレクターの野村誠氏（作曲家）とともに楽団員が一般市民とのワークショップやパフォーマンスを実施しているが、「世界のしょうない音楽祭」のみの開催となった。

6. センチュリー・ユースオーケストラの指導

公益財団法人関西テレビ青少年育成事業団と連携し、中学1年生から29歳までの青少年を募り、ユースオーケストラを組織して指導・育成を行った。星空ファミリーコンサート、第14回定期演奏会において日頃の活動の成果を披露した。

（新型コロナウイルスの影響で、星空ファミリーコンサートの合同演奏は取り止めた。）

7. アンサンブル

2月に「センチュリー室内楽シリーズ ピアソラ・ナイト」を、3月に「センチュリーリサイタルシリーズ Vol. 13 巖崎友美」を豊中文芸センターとの共催公演として開催。新型コロナウイルスの影響で、JR大阪駅での「センチュリーエキコン」は中止、大阪クラシックは3公演に出演し、「豊中まちなかクラシック」は7公演が行われた。

8. 依頼公演

大阪国際フェスティバル、守山ルシオールアートキッズフェスティバル、旭酒造プレゼンツ「音楽の贈り物」、NHK音楽祭2021、文化庁アートキャラバン事業、文化庁「文化芸術による子どもの育成事業」など、84の依頼公演に出演した。（うち、新型コロナウイルス感染拡大のため8公演が中止、9公演が延期）

9. 豊中市立文化芸術センター パートナーオーケストラ

2016年4月より豊中市立文化芸術センターの指定管理事業に携わってきたが、2021年度（2期目）よりパートナーオーケストラとしてホール事業に携わっている。（ホールでの公演やスタッフの派遣等は継続している）

10. 豊中市との連携

2012年に豊中市と提携した「音楽あふれるまちの推進に関する協定」に基づき、「豊中まちなかクラシック」として豊中市内各地で7公演を実施した。また、2018年度より開始された豊中市内の中学1年生を対象とした音楽鑑賞会「ホールでオーケストラ」に加えて、小学4年生を対象とした鑑賞会も2公演開催された。(中学校2公演、小学校2公演、計4公演)

上記に加え、憲法記念日の市長賞授賞式や当団練習場での「0歳からのコンサート」の演奏機会も頂いた。

11. CDの制作

楽団のPR、演奏技術の向上を目的としオクタヴィア・レコードと協力しCD制作を行った。

- ハイドン：交響曲集 VOL. 11 (2021年5月26日発売)
 - ハイドン：交響曲集 VOL. 12 (2021年8月25日発売)
 - ハイドン：交響曲集 VOL. 13 (2021年11月26日発売)
 - ハイドン：交響曲集 VOL. 14 (2022年2月23日発売)
- (指揮：飯森範親)

12. オーケストラハウスの管理

これまで、大阪府から貸与を受けているセンチュリー・オーケストラハウスの一部を音楽サロンとして一般市民に開放してきたが、事務所の移転に伴いセキュリティの面から一旦中止をしている。2022年度以降については大阪府と調整中。

■カテゴリー別事業損益 (単位：千円)

	2019年度(決算)			2020年度(決算)			2021年度(決算)		
	収入	支出	損益	収入	支出	損益	収入	支出	損益
シンフォニー定期	62,026	64,654	▲ 2,628	60,676	57,244	3,432	51,261	57,009	▲ 5,747
ハイドンマラソン	17,106	18,461	▲ 1,355	15,526	14,738	787	15,170	18,938	▲ 3,767
その他自主	13,187	26,402	▲ 13,215	48,536	63,883	▲ 15,347	23,189	25,938	▲ 2,749
自主公演計	92,319	109,517	▲ 17,198	124,738	135,866	▲ 11,128	89,621	101,884	▲ 12,263
依頼公演	172,731	104,640	68,091	124,219	63,664	60,555	313,512	152,968	160,544
豊中事業	49,112	31,044	18,068	34,207	26,651	7,556	40,243	20,410	19,834
演奏事業合計	314,162	245,201	68,961	283,164	226,180	56,983	443,377	275,262	168,114
共通・管理費用	109,344	337,390	▲ 228,046	177,070	318,404	▲ 141,334	59,296	248,732	▲ 189,435
総合計	423,506	582,591	▲ 159,085	460,233	544,585	▲ 84,351	502,673	523,994	▲ 21,321

II. 楽団運営

1. 事務局体制

事業部、総務経理部の2部体制で運営。従前の企画制作グループと営業推進グループを事業部内の部署とし、情報伝達指示系統、照査経路を確立し業務の効率化を図

った。また、各グループにグループ長、主任を据えることで、各グループの指示系統を明確化させた。

豊中市立文化芸術センター指定管理業務に携わる出向者1名については、楽団とホールの両面から相互の連携強化に努めている。

2. 広報宣伝概要

緊急事態宣言下での楽団発信を高めるため、楽員にも協力を仰ぎながら Youtube を強化し、4,800 人を超えるチャンネル登録者数を獲得した。(Twitter のフォロワー数は 14,000 名) また、久石氏首席客演指揮者就任や、J:COM や NHK のテレビ放送、定期演奏会の送迎バスやクラウドファンディングなどの話題を各紙に提供した。

3. コロナ渦における主なご支援と取り組み

主なご支援と給付金

三菱 UFJ フィナンシャルグループ様	880 万円 (2022 年 4 月入金)
株式会社高松コンストラクショングループ様	200 万円
雇用調整助成金	584 万円
特非)映像産業振興機構	90 万円
文化庁 アーツフォーザフューチャー	566 万円

クラウドファンディング

豊中市ふるさと納税形クラウドファンディング	1,103,000 円
クラウドファンディング (READYFOR)	10,905,000 円

融資

政策金融公庫 (新型コロナウイルス感染症特別貸付制度活用により実質無利息) 期間 15 年
60,000,000 円

北大阪信用金庫 (キャッシュフローのための融資) 期間 1 年 (2022 年 5 月に返済済み)

30,000,000 円

4. 法人営業強化

体制を強化し、既存会員のフォロー強化と新規スポンサーの開拓を実施。

法人サポーター会員 63 社 → 67 社に微増

オフィシャルスポンサー 17 社 → 15 社に減

新規加入 株式会社タクマ

株式会社エムズ住建設

※2022 年 3 月に日本商業開発株式会社様より 4 度目の 1,000 万円のご寄付を頂戴した

5. 人事情報

- ・ 楽員人事 退職者 2 名 佐藤ジュン（ファゴット奏者）一身上の都合により退職
森陽子（ホルン奏者）一身上の都合により退職
- 定年再雇用者 2 名 小川和代（ヴァイオリン奏者）パートタイム雇用
内藤謙一（副首席コントラバス奏者）フルタイム雇用
- ・ 事務局人事 入職者 4 名 福島満（事業部営業推進グループ長）
山本莉紗子（事業部企画制作グループ 制作担当）
小野真里佳（事業部企画制作 ステージマネージャー）
伊藤実里香（事業部営業推進グループ チケット担当）
- 退職者 1 名 杉原晶子（事業部営業推進グループ 広報担当）

以上

■各種会員推移

年度		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022※
個人 定期会員	シフオーニ-定期	397	351	251	228	211	207	328
	いずみ定期/ ハイドンマラソン	60	58	60	65	52	56	57
	プレミアム	167	151	136	111	100	95	95
法人定期会員		19	16	14	16	16	16	16

年度		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022※
スタンダード サポーター	個人	202	171	154	153	208	155	155
	法人	63	66	61	65	59	67	68
マンスリー サポーター	個人	19	18	18	16	22	22	20
目的別サポーター	個人	28	28	22	25	27	25	25
	法人	3	4	3	3	3	4	4

※2022年4月1日現在※